

大戸瀬前沖で漁獲されたサクラマスについて

涌坪 敏明・白取 尚実

1. は じ め に

サクラマスは本県沿岸域においてもその名が示すとおり、3～5月特に4月に盛漁期を迎える魚種である。曳釣・定置網等漁民にとって重要な春漁の対象魚種となっている。

サクラマス漁そのものは5月中旬でおおむね終漁となるが、今回大戸瀬前沖の大型定置に平成元年7月24日入網したサケ科の魚類を検索したところ、サクラマスと判明したのでここに報告する。

2. 材料および方法

提供された標本は大戸瀬漁業協同組合へ水揚げされたもので、組合側よりトキシラズ（シロサケ）らしいが種が不明なので調査してほしいとの連絡があり、当场で買い上げ当日の内に写真撮影、形質測定を行なった。脊椎骨数は解剖して計測し、年齢は鱗により査定した。

3. 結果及び考察

写真をみるとわかるように、頭部の外観をみると上顎が極端に内側に湾曲しシロサケの雄のようである。しかし体色はシロサケのブナケの状態とは異なり銀黄色で、また背面と背鰭基部に黒色の斑点が、また尾鰭基部に銀白色放射条がみられた。

この他の諸形質測定の結果を表1に示したが、永澤（1988）に従えばそれらの数値からサケ属に属すると判断され、日本海でみられるサケ科魚類の諸形質（表2）と比較してみると、全てがサクラマスの範囲にあり、特に鰓耙数、幽門垂数や上述した背面の黒色斑点や尾鰭の銀白色放射条などより本個体をサクラマスと同定した。まだ鱗相より河川1年半、海1年の2⁺魚と推定され、鼻曲りの具合や精巣重量より1週間程度で近くの河川に遡上するものと判断された。

本個体の漁獲が珍しい点として、前述のとおり漁獲された時期が通常より遅いことと本個体が雄であるということである。

サクラマスの一般的生態として、秋に産卵され孵化し翌翌年の春に降海し1年間海洋生活を送りまた産卵遡上のため母川へ帰る。加藤（1982）によれば本州域での遡上は5月がピークであると述べている。またサクラマスには幼型のまま性成熟し降海しない（いわゆるヤマメ）ものがあるが、逆に降海するものの性比は南方ほど雌が多く、北方では雌雄共に降海する割合が高いと述べている。その結果海洋でのサクラマスの雌雄比は雌にかたより、新潟の定置網の例では1980年には64尾中60尾が、1981年には156尾中145尾と9割以上が雌であった。

以上から本県日本海側でも降海・遡上するサクラマスの大多数が雌であると考えられる。

但し遡上時期に関しては、加藤（1982）によれば本県太平洋側や北海道の津軽海峡東部に面した地方には産卵期直前の初秋に遡上のピークを迎える特異的な存在があると述べており、全てのサク

ラマスが5月頃に遡上のピークを迎える訳ではない。しかし今回の場合はそのどちらにも時期的に含まれず、雄のサクラマスが本州日本海の河川に遡上するという意味でも稀な事例であった。

4. 参 考 文 献

- 1) 加藤史彦：日本海におけるサクラマスの分布・回遊と生態，海洋と生物21
(Vol. 4 - No. 4)，1982，286-291
- 2) 永澤 亨：日本海に出現するサケ科魚類の同定法，日本海区水産試験研究
連絡ニュース，No.346，1988，1-6
- 3) 吉田由孝・原子 保：老部川で捕獲されたギンザケについて，昭和61年度
青森県内水面水試事業報告，1988，84-88

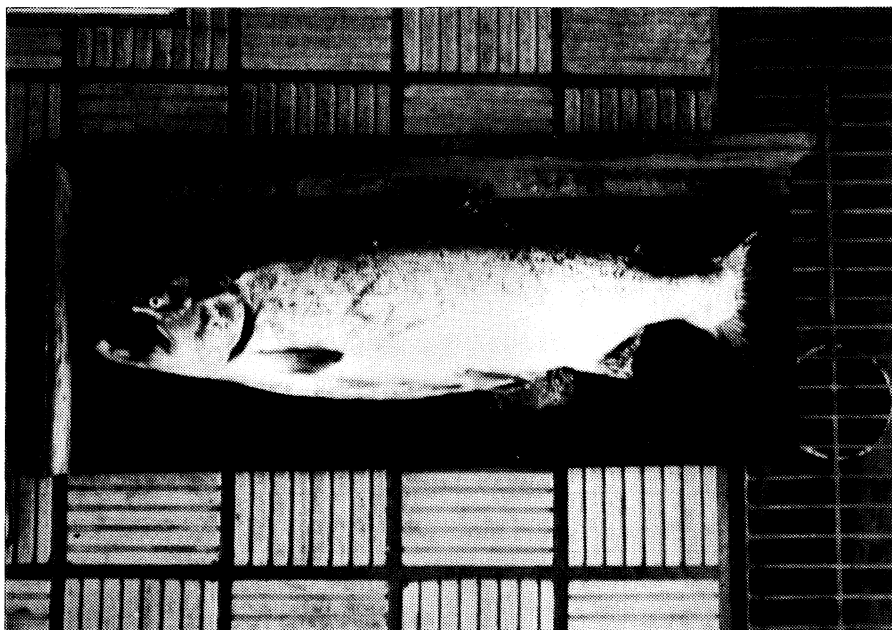
表1 大戸瀬前沖で漁獲されたサクラマスの形質測定結果

長さ (mm)		重さ (g)		数	
尾 又 長	666	体重	3,700	脊椎骨数	63
標準体長	646	生殖腺重量	25	側線鱗数	134
				鰓 耙 数	16
				幽門垂数	43
				鱗 条 数	背鱗 12
					胸鱗 13
					尻鱗 13

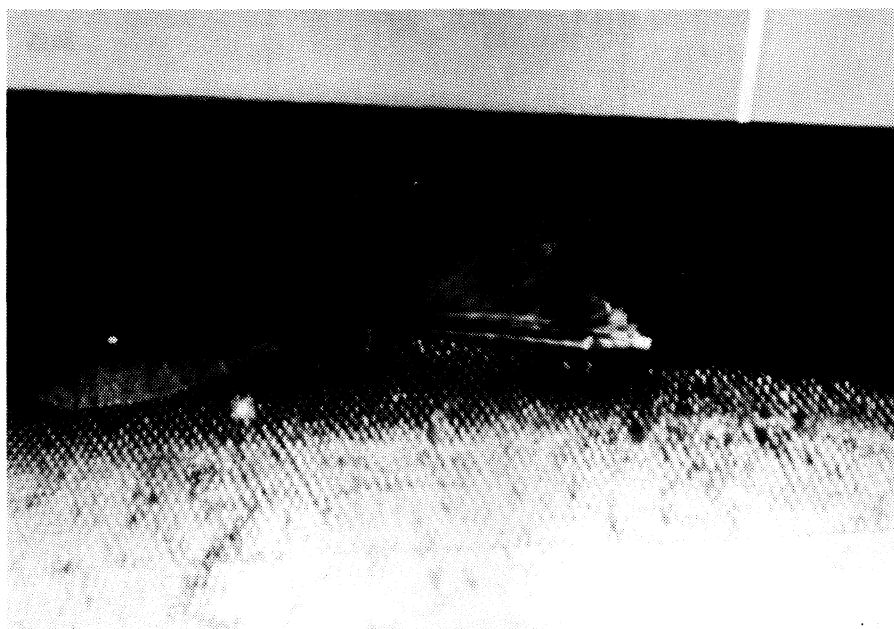
表2 日本海に出現する主なサケ亜科魚類の鱗条数

種 名	背鱗(総鱗条数)	背鱗(主鱗条数)	臀鱗(総鱗条数)	臀鱗(主鱗条数)	胸 鱗	腹 鱗
サ ケ	11-16	10-14	14-18	13-17	14-17	10-12
カラフトマス	12-18	10-15	16-19	13-19	13-17	11-12
ベ ニ ザ ケ	12-17	11-16	15-19	13-18	15-18	11-12
マスノスケ	14-17	10-14	17-20	14-19	15-19	10-13
サクラマス	13-18		13-18		12-17	9-11
ギ ン ザ ケ	13-15	9-12	15-18	12-17	13-16	10-11
ニ ジ マ ス		10-12		8-12	11-17	9-10
オショロコマ	13-16	10-12	11-15	9-11	14-16	9-11

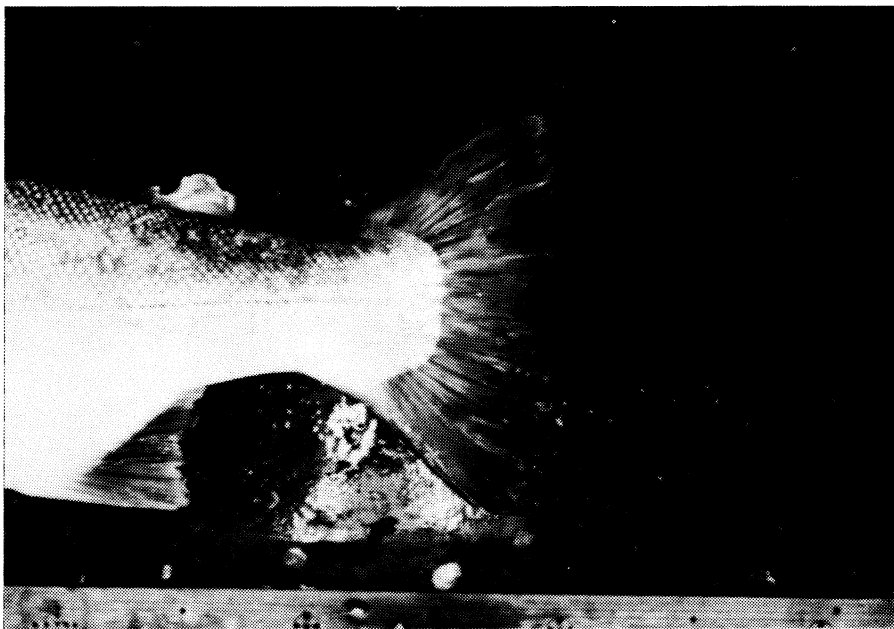
※日本海区水産研究所 連絡ニュースNo.346号より抜粋



全 体



背鳍基部



尾鰭基部